FAX News

発行:原水爆禁止日本協議会

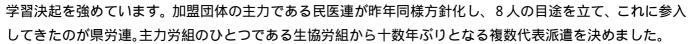
電話03 5842 6031 F A X 0 3 5 8 4 2

URL http://www.antiatom.org/ Eメール antiatom55@hotmail.com **2008年6月26日**

2008年世界大会まであと37日となりました。すでに青森、長野、高 知、宮崎などいくつかの県が昨年の学習パンフの普及数を超えてひろげて います。パンフで学習し、代表派遣につなげましょう。

【山形】代表 50 人派遣目標めざし全力

昨年20人の代表を送り出した山形県原水協は、6月23日現在、すでに 県内30人まで代表が決まってきています。大会パンフも昨年水準にせまり、



地域では、田川が目標の10人を越え、11人と過去最高の数となっているほか、米沢市の4人、上山市の2 人、さらに東村山地区では今年も親子派遣を検討しています。これらはすべて昨年の長崎大会参加メンバーが 主力となって押しすすめているもの。 と取り組 ながらG8の指導者たちが核兵器の完全で不可逆的な廃絶の達成と不拡散条約

佐々木俊司事務局長は、「この流れを2010年のNPT再検討 会議にまで大いに高めていきたい」と話しています。

【岡 山】「PEACE/PIECE おかやま」結成

08 年原水爆禁止世界大会と 世界青年のつどいを成功させ ようと、青年たちが頑張ってい ます。6月11日の実行委員会 では会の名称を「PEACE/ PIECE おかやま」ときめ



ました。平和の小さなかけらが集まって、大きな平和をつくりだす、 そんな思いを込めてのネーミングです(略称 PPO)。実行委員長 にはソワニエ看護学校1年生(19歳)を選びました。

PPOでは、世界大会・広島と青年のつどいに50人(バス1台) の参加をめざそうと決めました。そのための行動として、 を広く募る、 出来るかぎり参加しやすいように財政活動でがんば る(平和行進 50 周年の記念 Tシャツ販売で財政をつくる) 万羽折り鶴プロジェクトの呼びかけに応え、1万羽を広島に届けよ う、 平和行進を成功させる。7月19日を「青年デー」として青 県内通し行進の福田広史さん(23歳) 年の参加をよびかける、 を青年全体で支える 青年サポーターを組織し、青年のタスキをリ レーする、などをきめました。

声明

完全で不可逆的な核兵器廃絶を達成するための力強い

(別紙参

来月7日から9日に北海道で開催されるG8洞爺湖サ

は6月8

有

開発と国内への持ち込みを禁止してきたことが核兵器の惨劇を世界から無くそう

の原爆投下とい

んでいる全ての人々に希望を与えてきたと指摘

日本国憲法第9条も紹介し

と不拡散体制の強化のために、

界各国で を超える加盟団 和